

忠次旅日記 御用篇 (1927)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1927/12/27

【解説】

伊藤大輔（原作・脚本・監督）と大河内伝次郎（主演）による、国定忠治三部作の第三部。映画会社の方針により第一部「甲州殺陣篇」では国定忠治をヒーローとして描いていたが、第三部となる本作では忠治をひとり人間として取り上げ、映画評論家の岩崎昶に「ギリシア悲劇を思わせるほどの人物」とまで評された。プリントやネガはまったく残っていないとされていたが、90分ものプリントが発見・復元された。

忠次は沢田屋の番頭になりすまし身を隠していたが、正体がばれ捕り手に追いかけてられてしまう。中風が悪化した忠次は利き手が動かず、左手一本で応戦し、何とか逃げおおせる。子分たちに助けられ国定村に帰った忠次だったが、またもや捕り手に囲まれてしまうのだった…。

【クレジット】

| | |
|-----|---------------|
| 監督 | 伊藤大輔 |
| 原作 | 伊藤大輔 |
| 脚本 | 伊藤大輔 |
| 撮影 | 唐沢弘光 |
| 助監督 | 由川正和 |
| 出演 | 大河内伝次郎 国定忠次 |
| | 磯川元春 沢田屋喜兵衛 |
| | 村上英二 倅銀次郎 |
| | 沢蘭子 娘お糸 |
| | 秋月信子 遊女信夫 |
| | 浅尾与昇 野々村宗兵衛 |
| | 中村梅之助 捕手勇作 |
| | 中村時五郎 老僕嘉十 |
| | 尾上多摩蔵 横川の勘八 |
| | 市川左雁次 乾分野呂松 |
| | 尾上華丈 鷺津の音蔵 |
| | 中村英雄 孤児勘太郎 |
| | 尾上卯多五郎 お釈迦の源次 |
| | 阪本清之助 三ツ木の文蔵 |
| | 中村吉次 壁安左衛門 |
| | 岡崎晴夫 板割の浅太郎 |
| | 本田繁太郎 松井田の喜蔵 |
| | 市川正之助 足利の権蔵 |
| | 石井貫治 成塚の三代太郎 |
| | 浅見勝太郎 保積の卯之助 |

| | |
|-------|---------|
| 市川百之助 | 高崎の重吉 |
| 中村紅果 | 清水の岩鉄 |
| 嵐亀三郎 | お茶を運ぶ老人 |
| 嵐璃左衛門 | 中山精一郎 |
| 伏見直江 | 妾お品 |